

主題：イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことによって、
キリストのからだの実際の中で生きる

メッセージ 16

イエスにあるあの実際にしたがってキリストの中で教えられることによって、
実際の霊で構成され、キリストを学ぶ

聖書：ヨハネ14:17. 15:26. 16:13. I ヨハネ5:6. エペソ4:20-21. ピリピ3:10

I. キリストのからだの実際のために、わたしたちは実際の霊で構成される必要があります——ヨハネ14:17. 15:26. 16:13：

- A. ヨハネの文書は、その霊が実際の霊であることを啓示しています——14:17. 15:26. 16:13. I ヨハネ5:6。
- B. その霊が実際の霊と呼ばれているのは、子にあって父であるものは何であれ、子であるものは何であれ、その霊において實際化されているからです——ヨハネ16:13。
- C. 実際の霊は三一の神の実際です。すなわち、彼は三一の神であるすべての実際であり、彼が達成され、獲得され、到達されたすべてのものです——15:26。
- D. その霊はキリストの実際であり、神聖な啓示の実際です。このゆえに、その霊は実際と呼ばれています——I ヨハネ5:6。
- E. 実際の霊は、わたしたちをすべての実際へと導きます——ヨハネ16:13：
 - 1. 実際の霊は、信者たちを、三一の神のすべての実際へ、またすべての神聖な事柄の実際へと導きます——II コリント13:14。
 - 2. ヨハネ福音書第16章13節の「実際」は、父が持っているもの、子が持っているもの、その霊が子から、また父が持っているものから受けたものを指しています。
- F. 実際の霊がこの實際をわたしたちの中へと伝達することによって、わたしたちを神聖な実際へと導くにつれて、神聖な実際（手順を経て、究極的に完成された三一の神）は、わたしたちの存在の本質となります——エペソ3:14-17前半。
- G. 実際の霊がわたしたちの中へと入ったので、實際がわたしたちの中に住んでいます——ヨハネ14:6, 17：
 - 1. 実際の霊の中にあるものだけが霊の実際です——16:13。
 - 2. すべての霊的なものは、わたしたちの日常生活において実際に、生きていて、有機的なものとなり得る前に、実際の霊の中になければなりません——14:6, 17。
- H. 実際の霊はわたしたちの実際、命、生活であるべきであり、この實際は、あらゆることで、あらゆる点で、わたしたちの存在全体に適用されるべきであり、その結果、わたしたちの日ごとの歩みにおいてわたしたちの実際となります——III ヨハネ3。

II. エペソ書第4章21節でパウロは、實際はキリストの中にあるとは言っていない。そうではなく、實際はイエスの中にあると言っています：

- A. 「イエスにあるあの実際」という表現は、四福音書に記録されているような、イエスの生活の実際の状態を指しています——マタイ7:28—8:3. マルコ1:14-15. ルカ

8:4-18. ヨハネ4:34 :

1. その理由は、主イエスが人として地上で生活した時、彼の中には常に実際があったからです——14:6。
2. イエスの中に、すなわち、彼の人としての生活と日ごとの歩みの中には、彼が大工として働いていようと、神の務めを行なっていようと、いつでも実際がありました——1:14, 17。

B. エペソ書第4章17節で、わたしたちはイエスにあるあの実際と異邦人の思いのむなしさとの対比を見ます :

1. イエスの人としての生活の中には、むなしさはなく、実際だけがありました——ヨハネ14:6。
2. 神のないわたしたちの社会には、空の空があるだけです——伝1:2. 詩39:4-6前半。

C. 人なるイエスの日ごとの生活の中のあらゆるものは実際です——ヨハネ1:14 :

1. 彼の人としての生活の中で彼が行なったことは何であれ、実際でした——17節。
2. 彼の言葉は一つとして無駄にはなりません——参照、I ペテロ2:22。
3. 墮落した民である諸国民による神のない生活の中にはむなしさがありますが、イエスの敬虔な生活の中には実際があります——エペソ4:17, 21。
4. 彼は、あらゆることを神の中で、神と共に、神のために行なう生活をしました——ヨハネ17:4。
5. 神が彼の生活の中におり、そして彼は神と一つでした。これが、「イエスにあるあの実際」の意味することです——5:17, 36。
6. わたしたち信者は、わたしたちの命であるキリストと共に再生され、彼の中で教えられ、イエスにあるあの実際としての彼から学んでいる者たちです——コロサイ3:4. エペソ4:21。
7. 四福音書が啓示するのは、主の日ごとの生活の細部には、むなしさはなく、実際だけがあるということです——ヨハネ1:14, 17。
8. 四福音書のほとんどすべての頁において、イエスの敬虔な生活における実際と、彼の弟子たち同様に反対者たちなど、彼の周りにいた人々の生活におけるむなしさの著しい対比を見ます——マタイ23:1-36。

D. キリストはわたしたちにとって命であるだけでなく、模範でもあります :

1. 諸福音書に啓示されているように、彼は地上での生活において模範を打ち立てました——ピリピ2:6-8。
2. それから彼は十字架につけられ、復活して、命を与える霊となりましたが、それは彼がわたしたちの中へと入って、わたしたちの命となるためです——I コリント15:3-4, 45後半。
3. わたしたちは彼の模範にしたがって彼から学びますが、それはわたしたちの天然の命によるのではなく、復活におけるわたしたちの命である彼によります——マタイ11:29. ヨハネ11:25。

Ⅲ. キリストを学ぶとは、キリストの原型に形づくられること、すなわち、キリストのかたちに同形化されることです——ピリピ3:10. ローマ8:29 :

A. 主イエスは彼の地上での三十三年半において、鋳型、原型を作りましたが、それは

- 彼を信じるすべての者が同形化されるべきものです——ピリピ3:10. ローマ9:20 :
1. 四福音書の記録によれば、主イエスの生活は実際の生活でした。
 2. 実際とは光の輝きです——マタイ4:16. ルカ1:78-79. ヨハネ1:5, 7-9 :
 - a. 光は源であり、実際はその表現です——4, 14, 17節。
 - b. 主イエスは神の栄光の輝き（光輝）です。これは、彼が光としての神の輝きであることを意味します——ヘブル1:3. ヨハネ8:12。
 - c. 地上での主の生活のあらゆる場面で、光の輝きがありました。彼の生活は実際の生活であり、神ご自身が輝いている生活でした——1:9. I ヨハネ2:8。
 - d. あの実際の生活は神の表現でした。こういうわけでパウロは、わたしたちはイエスにあるあの実際としてのキリストを学ぶと言っているのです——エペソ4:21。
 - e. 言い換えれば、わたしたちはイエスの生活の鋳型、すなわち実際にしたがってキリストを学ぶのです——ピリピ3:10。
 - B. キリストはこの鋳型を打ち立てた後、死と復活を経過しました。そして、復活の中で、彼は命を与える霊と成りました。そのような霊として、彼はわたしたちの中へ入って来て、わたしたちの命となります——ヨハネ11:25. I コリント15:45後半. コロサイ3:4 :
 1. わたしたちがキリストを信じて、バプテスマされたとき、神はわたしたちを鋳型としての彼の中へと入れました（それは、生地が金型に入れられるのと同じようです）——参照、I コリント1:30. II コリント5:17. ローマ8:1。
 2. 鋳型に入れられることによって、わたしたちは鋳型を学びます——ピリピ3:10. エペソ4:20-21 :
 - a. これは、わたしたちがキリストの中に入れられることによって、キリストを学ぶことを意味します——20節。
 - b. 一方で、神はわたしたちをキリストの中へと入れますが、もう一方で、キリストはわたしたちの中へと入って、わたしたちの命となります——ヨハネ11:25. コロサイ3:4。
 - c. 今、わたしたちは神によって置かれた鋳型にしたがって彼によって生きることができますように。
 - d. わたしたちは鋳型としてのキリストの中におり、彼はわたしたちの命として、わたしたちの中にいます。このようにして、わたしたちはイエスにあるあの実際としてのキリストを学びます——I コリント1:30. コロサイ3:4. エペソ4:20-21。